

Welcome to E-Defense

[HOME](#)[TOUR](#)[サイトマップ](#)
[English](#)

E-Defense Technical Tour

実大木造住宅の倒壊実験 一般公開のお知らせ

独立行政法人防災科学技術研究所は、文部科学省『大都市大震災軽減化特別プロジェクト（大大特） 震動台活用による構造物の耐震性向上研究』の一環として、実大伝統木造建物の震動台実験を計画しております。

実験では、2体の同じ間取りをした実大の在来構法木造建物試験体を同時に震動台で揺らします。試験体は、2005年11月に実施した木造建物の倒壊実験で使用した木造住宅と同じ間取りのものを新築で再現しており、大きさは、縦横が約6m×7m、高さ8mの2階建てで、都市部に多く残る既存不適格木造住宅 2と呼ばれる建物を新築で再現したものです。1棟は、鉄骨製架台の上に土台より上の部分の木造建物を再現し、建物の経年劣化の影響を調査します。もう1棟は、発泡系プラスチック材料で模擬した地盤の上にコンクリート基礎から再現します。耐震補強は行いますが、わざと不完全な補強を実施して建物の地震時挙動を確認します。また、基礎コンクリートの一部は鉄筋を入れない無筋コンクリートとして、基礎部分での破壊を発生させる予定です。

実験では、約500個のセンサーを試験体に取り付け、1995年兵庫県南部地震においてJR鷹取駅構内で記録された強震記録（震度7相当）を震動台上で再現します。耐震診断・耐震補強技術の更なる精度向上を目指して、どちらかの住宅が倒壊するまで震動させます。実験で得られたデータは、建設分野の関連研究者に提供され、木造建物の耐震設計や学術的研究に反映されます。

震動台実験の一般公開を予定しておりますので、下記の要領にてお申し込み下さい。



鉄骨架台の上に建つ試験体



模擬地盤上に建つ試験体

1. 実験日時と場所 (予定)

日時：平成19年2月28日(水) 13:30～15:30

受付時間 13:30～14:45

場所：E-ディフェンス

(〒673-0515 兵庫県三木市志染町三津田字西亀屋1501-21

独立行政法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター)

集合：申し込みはがきをご持参の上、E-ディフェンスに直接お越し下さい。

2. 見学申込み方法

見学を希望される方は、往復はがきに住所、氏名または団体名(代表者氏名)、見学人数、来所方法(自家用車、公共機関、バスなど)をご記入の上、下記までお申し込み下さい。個人でお申し込みの場合、人数は2名様まで、団体でお申し込みの場合は10名様までとさせていただきます。

申込み者が多数の場合には抽選とさせていただきます。

申込先：〒673-0515 兵庫県三木市志染町三津田字西亀屋1501-21

独立行政法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター 総務室宛

申込締切：平成19年2月17日(土)(消印有効)

注：1) 報道関係者の方には後日お知らせしますので、本申し込みでの応募はご遠慮下さい。

2) 見学に関しましては、実験現場の状況次第で時間帯の変更あるいは中止になることもございますので予めご了承ください。

3. 問い合わせ先

TEL：0794-85-8211(代表)

E-mail：ekengaku@bosai.go.jp



(C)2004 Hyogo Earthquake Engineering Research Center